

3	<p>P. 32 施策 1-5【高校教育における柔軟な学びの場の提供】</p> <p>不登校や中退の生徒に対応する役割が課題にもあるが、午後登校の授業を作るなど、他の定時制のやり方にも習ってできないか。市立という中で、可能な取り組みを検討してほしい。(小学校の空き教室を利用するなど、市の施設の有効利用について部門を越えて考えて欲しい。)</p> <p>備前緑陽高校との連携を市としても取り組みに入れてはどうか。片上のチョイヤサやひな巡り、片上古道アート散歩、産業フェア等の地域行事への参加協力が、地域振興に大変役立っているように思う。</p> <p>備前市外から通う生徒が多い中、備前の魅力を体験し、備前に就職、移住してくれるような取り組みを作ってほしいと思う。</p>	<p>片上高等学校の在り方については、今後検討して参ります。</p>
4	<p>P. 36 施策 2-2【公民館・図書館機能の充実】</p> <p>新市長の選挙戦で語られた「旧アルファビゼンを解体し、バスターミナルと図書館などにする」という計画を組み込むべきではないかと思いますが。</p>	<p>本件については、「取り組み⑥図書館機能の整備・充実」で包含して表現しています。</p>
5	<p>P. 44 施策 4-1【コミュニティの育成と地域活動の支援】</p> <p>取り組み③ 地域おこし協力隊について、1期の方の報告会が開催されましたが、3年の任期の中で地域課題をとらえ取り組む姿勢は、地域力を高める素晴らしい活動だと思いました。</p> <p>それぞれの地域の課題や求められる任務の違いで、21人いる隊員が同じようにはいかないと思いますが、情報交換の機会を定期的に持つことで隊員の方や受け入れ地域の方、双方に役立つ情報が伝わったり、不安解消になったりして、より大きな利益が生まれると思います。</p> <p>3年はとても短いので、例えば観光ボランティアの研修に参加して備前の全体を知る機会を提供するなど、隊員に対する受け入れから定着、自立への流れを経験を重ねる中でより良いものにしていく欲しいと思います。</p> <p>隊員の受け入れをしていない地域の市民にも知らせる形で活動内容からテーマを出して講演会やシンポジウム等を行って、市民主体のまちづくり推進にもしていけるのではと思います。</p> <p>外から来てくれた方の発想からも学び、隊員の方達を助けることで備前市が一つになって力を発揮する道が見えてくるのではないかと、私も思い、期待します。</p>	<p>地域おこし協力隊の活動を市民の方に広くお知らせする事は大切だと考えております。</p> <p>隊員が備前市に定住できるよう、今後も各研修の案内も続けてまいります。また、新しい発想で備前市全体の活性化につなげていけるよう、隊員と地域、市が連携できるようサポートをしてまいります。</p>

6	<p>P. 56 施策 5-4 【河川改修・砂防施設整備】</p> <p>河川掃除をボランティアで実施しているが、最近の河川を見ると、台風などにより堆積物が多く川底がかなり浅くなっている。河川の氾濫防止の為、定期的な堆積物除去が必要ではないか。</p>	<p>河川浚渫について、残土捨場の確保が必要であることから現在、市では残土処分場の建設に向けて候補地を選定中であります。また、各地区において、残土処分場を確保していただける情報があれば現地調査等を行い、可能と判断すれば河川浚渫を行う予定としております。</p>
7	<p>P. 64 施策 6-3 【高齢者への福祉の充実】</p> <p>取り組み③ 地域包括ケアシステムについて、備前では総合事業として民間 NPO シルバー人材などとの連携で作ろうとしています。市民との協働で市民の生きがいにもなる事業であると思っておりますので、そのことも記載してはどうでしょうか。</p>	<p>総合事業の枠にとらわれず「市民との協働」で高齢者の生活を支援する体制を整備するという記載としました。</p>
8	<p>P. 68 施策 6-5 【生涯を通じた健康づくりの推進】</p> <p>去年から行っている「B ポイント制度」の推進についても取り組み⑥に含めるか別に⑦として掲げてもいいのでは。行事参加にもポイントがつけられるので、まちづくりや地域活性化にもつながる取り組みとして周知していく意味でも項目に挙げて、続けていってほしいと思います。</p>	<p>ご指摘の「Bポイント制度」につきましては、取り組み⑥に記載している保健事業の1つであります。</p>
9	<p>P. 70 施策 6-6 【地域に密着した医療サービスの提供】</p> <p>市立病院が3つもあり医療体制が手厚いと期待していましたが、診療受付時間が4時までと短く、学校が終わってかかろうとしてもかかれません。例えば週一日だけでも遅い時間まで診療する日を設けるなど、市内で受診できるような対応はできないのでしょうか。</p>	<p>備前病院では、診療終了時間を17時としており、それを勘案して受付終了時間を1時間前の16時としておりましたが、平成29年4月から30分前の16時30分に延長させていただきました。</p> <p>なお、市立病院の診療時間は、備前病院、吉永病院が17時まで（土曜日は12時まで）、日生病院が18時まで（土曜日は休診）となっており、時間外の急患等については、当直医師により対応させていただきます。（ただし、医師の診療科目によりお受けできない場合があります。）</p>
10	<p>P. 72 施策 7-1 【魅力ある農林業の推進】</p> <p>取り組み⑥ 森林整備は備前焼を考える上でも力を入れる必要があると思っております。備前焼は松の割木を使うと聞きますが、ほとんど広島県や島根県から購入しているという話を聞きました。循環型社会の推進のためにも本来なら備前で調達できるように森林の整備も考えていく必要があるのではと思います。里山の保全が防災にもなり、里海もはぐくむと聞きますので、力を入れて欲しいと思います。</p>	<p>備前焼には松の割木を大量に使用すると認識しております。地産地消の観点からも市内で確保することが望ましいですが、特に植樹する場所や管理など多くの課題が考えられますので、実現が可能かどうか検討していきます。</p>

1 1	<p>P. 78 施策 7-4【にぎわいをもたらす観光の進行】</p> <p>「峠」のサイクルセンターと駐車場を旧片鉄片上駅付近に作り、商店街を歩いて行けるようにする。そこにある新サイクルセンターには、「道の駅」のようなものを作り、有料で良いからシャワールームを設置する。シャワーでゆったりしていただくと、「道の駅」で買い物をして帰ってもらえる。旧閑谷学校・八塔寺ふるさと村・備前焼等を通る自転車道を充実して、レンタル自転車も準備し、観光客の取り込みを図ってはどうか。</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。ご提案ありがとうございました。</p>
1 2	<p>P. 78 施策 7-4【賑わいをもたらす観光の振興】</p> <p>観光ボランティアガイドの研修に参加しましたが、とても素晴らしく、備前の歴史と文化理解にとっても役に立ちました。備前住人も合併して一緒になった他の地域についてはあまり知らないのではないのでしょうか。市役所職員も市外から通う方も多いと聞きますので、機会があれば見て回る価値のある研修だと思います。</p> <p>観光ボランティアガイドの活動のやり方も素晴らしく、観光協会他との連携も良く、会合を定期的に持ち、ガイド同志の関係づくりもできていて気持ちよく活動できる団体だと感心しました。</p> <p>研修に職員が参加された日もありますが、職員研修としても導入されたらと思いました。</p> <p>観光情報の発信として、観光大使も会合を持って情報交換などを行い、より貢献していただける可能性を広げていってはどうか。備前の魅力を発信する有効な方法は、魅力を発信したくなる人や団体を増やし育てることだと思います。ひなビジョンにも動画配信など協力してもらってはどうか。</p>	<p>当課におきましても、ボランティアガイド協会の活動につきましては、非常に有益な活動をされていることを承知しています。</p> <p>本年度の職員研修は、片山会長に講師をご依頼して実施をしたところです。</p> <p>また、観光大使のご提案やひなビジョンの協力について、検討してまいりたいと考えています。</p>
1 3	<p>P. 88 施策 8-4【道路環境の整備】</p> <p><u>ニワウルシの進出を止めよう</u></p> <p>1) 近年R2とJR赤穂線沿線の東片上～二の樋間の周辺 2) 片上から伊部超えの県道沿線の空き地や空き家、峠地区の耕作放棄地などにすごい勢いで繁殖が広がっている。</p> <p>ニワウルシはとても成長が早く、放置すれば10年で20mほどになり、伐採してもすぐ萌芽し、みるみる内に周辺に広がる。このままでは、さらにその周辺に拡大して地域の景観が損なわれ、今の植生も侵されるおそれがある。</p> <p>峠地区のように住居近くまで進出して取り返しがつかなくなる恐れもあるため、対策が必要ではないか。</p>	<p>1) 国・JRへ状況を説明し草刈等の依頼をします。</p> <p>2) 市管理の道路沿いについては草刈を行うようにします。空き家については空き家法に基づき持ち主に連絡し注意喚起します。</p>

14	<p>P. 94 施策 8-7【地域情報化の推進】</p> <p>情報化推進としてハード面システム面の推進があげられていますが、パソコン知識を身に着けたり、ホームページやアプリを活用するようになるためには、市民が慣れ親しむ環境作りが必要です。パソコン教室やスマホ教室、利用するサークルやサロンなどを作る工夫が必要なのではないでしょうか。</p> <p>以前住んでいた足立区では、住民の心に訴えかける広報誌作りを追求する中で、シティープロモーション課というチームで編集していましたが、人を前面に出し、情報に親しめる工夫をしていたように思います。また、情報は人の関心や繋がりがあって伝わるものなので、それぞれの分野での人間関係が良好に育っていることが必要だと思います。</p> <p>広報を話題にする人が増え、関心が高まるような紙面づくりに期待します。</p>	<p>情報通信技術の進展に伴い、ICT（インターネット）を活用した施策や行政手続がより身近に感じられる環境づくりを推進するとともに、普及啓発に努めていきたいと思えます。またスマートフォンやタブレットの利活用を見直す機会にできればと思います。ご提案ありがとうございます。</p>
15	<p>P. 102 施策 10-1-1【広聴・広報活動の充実と情報公開の推進】</p> <p>ホームページを充実させても利用する市民が少ない現状では情報が行き渡りません。IT サロン等を作り、高齢者にもホームページや SNS 利用が親しめるようにしていく努力も必要だと思います。</p> <p>「ひなビジョン」も市民からの投稿も活用して充実させてはどうでしょうか。</p> <p>足立では区の魅力を発信するため、CM グランプリも行っていました。</p> <p>市民参加の企画も行うと関心が高まるように思います。</p>	<p>広報紙は高齢者を、ホームページや SNS については、若い人をターゲットに情報発信を考える傾向が強かった、ご意見の取り組みも研究して高齢者にも親しんでいただけるように努めていきたいと思えます。</p> <p>「ひなビジョン」については、取材体制、番組編成を見直して全市的な CATV とすることが重要課題と位置付けております。その中で、市民参加企画が魅力充実と同時に課題解決のキーワードにもなると考えておりますので、市民からの投稿や CM グランプリも参考に検討できればと思います。ご提案ありがとうございます。</p>
16	<p>その他</p> <p>雑木林を活用して薪ストーブ村を作ろう</p> <p>近年癒しとスローライフを求めてまきストーブに憧れる中高年が増えてきました。</p> <p>一方、本市には豊富な森林資源が活用されることなく放置されています。特に人口減少の激しい吉永地区のふるさと村を中心に薪ストーブ村が造られたら良い。</p> <p>当面その趣旨に賛同する 5～10 世帯の定住を図り雑木林（くぬぎ、コナラ等の落葉樹）を管理してもらいながら関連する仕事をしてもらおう。</p>	<p>ご提案のふるさと村周辺では、特に過疎化と高齢化が進んでおり、活動をしていただける人が居ないのが現状です。</p> <p>市として取り組む場合、人材の確保をはじめ木材の搬出ルートや安定した供給体制・拠点づくりなどを整備する必要がありますが、事業を持続可能にするには多くの課題があると考えます。</p> <p>ご提案は充分参考にさせていただきますが、まずは、個人やグループですすめていただ</p>

	<ul style="list-style-type: none">・薪ストーブの燃料となる薪を生産販売。・閑谷学校と八塔寺ふるさと村に「癒しの薪ストーブ喫茶店」を開設してその運営。・薪ストーブの普及と広報活動。 など	き住民等への広がりを期待いたします。
--	---	--------------------